

園だより2月

令和8年1月30日
台東区立田原幼稚園
TEL3842-6477

みんなに優しい ばら屋敷

園 長 宇塚 華子

1月15日（木）、もも組さんとばら組さんは、花やしきへ遠足に出かけました。出発前に子供たちは、「みんなで一緒に乗る乗り物を二つ」「自分が乗りたい乗り物を三つ」と決めるため、何度も話し合いを重ねていました。友だちの気持ちを考えながら意見を出し合う姿は、成長を感じさせるものでした。

ところが、実際に花やしきに着いてみると、ジェットコースターの速さに少し怖くなって別の乗り物に変える子がいたり、スリラーカーの雰囲気尻込みしたりと、直前で気持ちが変わる子もいました。その姿がとても微笑ましく、どの子も自分なりに考えながら、無理をせず楽しんでいる様子が印象的でした。結果的に、笑顔あふれる楽しい一日となりました。

その間、うめ組さんは幼稚園でお留守番です。遠足に出かけているもも組さんのお部屋を借りて遊ばせてもらいました。事前に、もも組さんからお部屋の使い方や遊具の約束を教えてもらう時間があり、もも組さんは一つ一つ丁寧に、優しく説明してくれました。うめ組さんも真剣な表情で話を聞き、当日も「これはだめだったね。」「こうしなきゃいけないんだよ。」と、もも組さんから聞いたことを思い出しながら、新しい環境での遊びを楽しんでいました。

遠足から帰ってきたばら組さんは、「幼稚園のみんなのために、ばら屋敷をやろう」と話し合いました。満場一致で決まり、スリラーカー、ちびっこタクシー、ジェットコースターの三つに分かれて、乗り物作りが始まりました。「大人も乗れるようにしたいね」という意見から、誰が入れば大きさが分かるかを考え、「一番大きい山田先生が入れば、みんな入れるね。」と実際に山田先生に入ってもらい、確かめながら作り上げていきました。

完成したばら屋敷では、うめ組も、もも組も招待され遊ばせてもらいました。花屋敷では、スリラーカーに乗れなかったもも組の子が、勇気を出して挑戦し、最後にはニコニコの笑顔を見せてくれました。その姿を見て、ばら組さんもととても嬉しそうでした。ばら組さんにとっても、もも組さんにとっても、自信につながる大切な遊びの時間になったのだと感じます。子供たち同士の関わりの中で育つ思いやりや成長を、これからも大切に見守っていきたいと思います。

